

門司メディカルセンター 地域医療連携室だより

4

診療科紹介

脳神経外科のご紹介

脳卒中部長(脳卒中センター長、脳神経外科部長)

太田 浩嗣



当院の脳神経外科(当時)は1989年副島徹先生(産業医科大学脳神経外科助教授)が脳神経外科の初代部長として赴任され、多くの患者さんの治療にあたってきました。一時期、医局の人員不足で外来診察のみの時期もありましたが、現在は3人体制で頑張っております。地域のニーズに答えられるように、日々、努力を重ねております。

また、当科は脳神経外科関連施設であり、脳卒中教育施設及び脳卒中センターとして、脳神経外科学会及び脳卒中学会から認定されております。

以下、当科が担当する疾患について述べさせていただきます。

脳卒中

発症からの時間が重要視され、24時間体制で最適の治療を行っています。

- ① **脳梗塞**：超急性期脳梗塞(発症4.5時間以内)に対してはt-PA療法をはじめ、血栓回収術を含めた集約的治療を行っております。一方、発症4.5時間以降の脳梗塞に対してもアルガトロバン、オザグレルNaやエダラボンをはじめとした内科的治療を加えています。また、治療開始早期からリハビリテーションを併用しております。更に、慢性虚血閉塞性疾患に対してはバイパス手術、頸部内頸動脈剥離術ならびに頸部ステント術や経皮的血管形成術等も適応に応じて行っています。
- ② **脳出血**：開頭血腫除去術を含めた外科的加療をはじめ、内科的集約治療も行っています。
- ③ **くも膜下出血**：出血源である破裂脳動脈瘤に対して、直達手術(クリッピング術)だけではなく脳血管内手術(コイル塞栓術)も行い、その後生じる脳血管攣縮に対しても内科的集約的治療を行っております。場合によっては、塩酸パパベリンを用いた血管内治療も加えております。
- ④ その他、**未破裂脳動脈瘤**や脳動静脈奇形等の脳血管障害に対しても、最適な外科的治療を行っております。

脳卒中の治療は多岐にわたり、脳神経外科単科ではなく、①放射線科と共同で脳血管内治療、②リハビリテーション科と共に早期リハビリテーション、③内科及び循環器内科と基礎疾患のコントロール、更に、④地域医療連携室と協議し退院後の社会復帰や復職の支援も行っています。

脳血管内手術

近年、脳血管内手術のニーズも高まり、未破裂脳動脈瘤に対してコイル塞栓術を行っており、治療実績も向上させております。特に、フローダイバーターの使用基準拡大により、2023年9月より治療を開始しております。

脳卒中ホットライン

2023年2月より、脳卒中ホットラインを開始しておりますので、お困りの患者さんがおられましたらご連絡いただければ幸いです。

脳腫瘍

頭蓋底手術を含めた開頭腫瘍摘出術を行っております。髄膜腫等の良性脳腫瘍では院内完結を目指しております。一方、悪性脳腫瘍では手術後に放射線療法が必要となり、当院には放射線治療科がないため戸畠共立病院に依頼しております。しかし、放射線治療終了後、当科で化学療法やリハビリテーションを含め治療を継続しております。

さらに、産業医科大学脳神経外科との連携も諂っており、患者さんに対して最適な治療を心掛けしております。

頭部外傷

特に、急性硬膜下血腫/外血腫や脳挫傷では迅速な外科的対応が必要となり、24時間体制で救急対応をとっております。

機能外科

正常圧水頭症、顔面痙攣や三叉神経痛といった機能的外科的疾患に関しては希望に応じた最適な外科的加療もしております。

以上、当科で日常治療を行っている疾患に関して述べさせていただきました。
今後ともよろしくお願ひいたします。



後列左から

野口医師 福満副部長

前列左から

橋田医師 竹下部長 太田部長

患者さんのご紹介を是非お待ちしております。



令和5年度『地域医療連携懇話会』開催しました！

報告

10月11日（水）にプレミアホテル門司港にて4年ぶりに開催いたしました。

1部では診療科の取組みや連携室スタッフの紹介を行い、2部の意見交換会ではコロナ禍前の開催形式と同じように、ゆっくりお食事も楽しんでいただきたいという思いから「着席」スタイルで行いました。

当日は登録医の先生方を中心にご出席いただき、当院職員にとって大変有意義な意見交換の場となりました。

あらためて「顔の見える連携」の重要性を実感することができました。



今後も地域の先生方との連携を強化し、地域医療支援病院としての役割を果たして参りますので、引き続きご支援の程お願い申し上げます。



新任医師 紹介



泌尿器科
原田 みりい

おしゃせ

年末年始の休診日について

日頃より先生方には大変お世話になっております。2023年10月より、赴任しました。

5年前にも1年間、当院で勤務した経験があり、とても懐かしく思いながら毎日楽しく過ごしています。

この5年間は、産業医科大学病院をはじめ、その他近隣の病院で多くの経験を積み、無事に専門医も取得することができました。泌尿器科医として、皆様のお力になれることも増えたと思いますので、お困りの患者さまはぜひご紹介ください。どうぞよろしくお願ひいたします。



趣味：旅行

地域医療支援病院研修会のご案内

第9回 紹介症例検討セミナー

開催日時：2023年12月18日（月）18:30～19:30

会場：①当院 7階会議室

②Web参加（Zoom）

申込方法：下記メールアドレスへ参加申込

Mail : ijika-iji@mojih.johas.go.jp

又は 別紙申込用紙のFAX送信

（申込締切：2023年12月13日（水））

演題①：「動眼神経麻痺を合併した2型糖尿病で
SGLT-2阻害薬が奏功した2例」

発表者：須貝 慧(第三糖尿病・代謝内科部長)

演題②：「SGLT2阻害薬の增量の有効性についての検討」

発表者：新生 忠司(副院長、糖尿病・代謝内科部長)



病院理念

働く人々と地域の人々の健康管理を支援し信頼される医療を提供します。

〒801-8502 北九州市門司区東港町3番1号

<地域医療連携室直通>

TEL : 093-332-7616

FAX : 093-331-3466

PHS : 093-332-1250(地域医療連携室担当看護師)

室長 大西 英生

課長 村岡 美紀子

事務 池田 陽介

上田 英理子 川野 美穂

小山 真純 本田 美穂

片山 康雄 高田 裕美

MSW 桂川 陽子 前原 知香

大石 夏喜

入退院支援患者サポートセンター看護師長 古賀 さとみ

入退院支援患者サポートセンター看護師 野副 可奈子

岡本 紀美子

村枝 紗代

秋本 真水

